

参加者募集!!

滋賀県の地域医療を
学んでみませんか?

夏期宿泊研修の お知らせ

～彦根市・米原市方面～



里親学生支援室では**8月25日(月)～26日(火)**に
彦根市・米原市方面で宿泊研修を実施します。

今回の研修地域は、徳川家譜代大名井伊家による彦根藩（彦根城）のあった彦根市と高山植物の宝庫としても知られている伊吹山を有する自然豊かな米原市を予定しています。

地域の自然、文化に触れながら、地域で生活する人々と、それをささえる病院・診療所等医療施設を見学し、医療従事者の働きを学びませんか？



滋賀県ってどんなところ？地域医療ってなに？地域医療をもっと知りたい！など…少しでも興味がある方は是非参加しませんか？

訪問予定先：彦根市立病院、豊郷病院、地域包括ケアセンターいぶき 等

※参加費として、2,000円を徴収します。（参加当日）

ご希望の方は、**令和7年7月7日(月)まで**に学籍番号・氏名・「宿泊研修参加希望」と明記の上、メール(satooya@belle.shiga-med.ac.jp)でお申込みください。

◆お問い合わせは・・・
滋賀医科大学 里親学生支援室（学務課内）
TEL：077-548-2072
E-mail：satooya@belle.shiga-med.ac.jp



「里親学生支援事業」による学生支援とは…
将来、地域医療の担い手となる学生さんを地域で活躍する医師・看護師・助産師・保健師の方々が「里親」となって支援するプログラムです。
現在、74名の学生さんが登録しており、約80名の里親・プチ里親の方々が支援してくださっています。

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2025 第一弾を開催します。

2025年5月21日

里親学生支援室では、医学・看護学教育センター・滋賀県医師キャリアサポートセンター・滋賀医療人育成協力機構と共催で、主に医学生など医療系学生、初期研修医の皆さんを対象にした講演会を開催します。ぜひご参加ください。

訪問看護の魅力をたっぷり味わいながら・・・ 多職種連携のコツをつかもう

今年度も始まります、「学内で地域医療の体験ができるシリーズ」です。

訪問看護ステーションゆげから雨森 千恵美先生をお迎えします。

訪問看護の事例を通して実際にイメージして頂き、これからの訪問看護と一緒に考えていきたいと思います。また、在宅療養の質を向上する上で求められる多職種連携についてもディスカッションできたらと考えています

訪問看護って実際にどんなことをするんだろうと思っている看護学科の皆様、是非ご参加ください。また医学科の学生や研修医の方も訪問看護師から見たお話を聴いてこれからの役立ててみませんか。是非一歩成長してください。

課外授業シリーズでは、地域医療をいろんな角度から知ることができます。低学年から高学年まで、たくさんの方々のご参加をお待ちしています！詳しくは当日の講義を楽しみにしててください！

今回は、お菓子🍪🍰を提供させていただきます。是非参加してください。お菓子の数を確認したいので、申込制とさせていただきます

記

◆日 時:2025 年 7 月 2 日(水)16:30～18:00

◆場 所:第一講義室

◆講師紹介:

訪問看護ステーションゆげ

管理者訪問看護認定看護師 雨森 千恵美 先生

在宅医療をこよなく愛し日々やりがいを持って看護を行ってきました。

在宅看取りの実際、災害支援、フィールドバックカンファレンスの普及など実際の訪問看護の様子を聞いて頂きながら皆さんとディスカッション出来たら嬉しいです。

◆対 象:医学科・看護学科学生、研修医

📄 申込方法 📄

①WebClass にて受付をいたします。

https://latte.shiga-med.ac.jp/webclass/login.php?id=0d87c5a92315b5b84ba8e1639c8790ed&page=1&auth_mode=SHIB

②申し込み期間: ~6/30(月)13:00 まで

国立大学法人 滋賀医科大学

医学・看護学教育センター

〒520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL:077-548-2754

FAX:077-548-2296

E-mail:hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ2025 第一弾！

訪問看護について知りたい人大募集！

訪問看護の魅力をたっぷり味わいながら・・・

多職種連携のコツをつかもう

2025. **7月2日(水)** 16:30~18:00

会場 第1講義室

対象 医学科・看護学科学生、研修医



訪問看護ステーションゆげ

管理者 訪問看護認定看護師 雨森 千恵美 先生

在宅医療をこよなく愛し日々やりがいを持って看護を行ってきました。在宅看取りの実際、災害支援、フィールドバックカンファレンスの普及など実際の訪問看護の様子を聞いて頂しながら皆さんとディスカッション出来たら嬉しいです。

訪問看護の事例を通して実際にイメージして頂き、これからの訪問看護と一緒に考えていきたいと思います。
また、在宅療養の質を向上する上で求められる多職種連携についてもディスカッションできたらと考えています。

訪問看護って実際にどんなことをするの？

申し込みはこちらから

低学年も是非参加して下さい！

締め切りは **6/30(月) 13:00** まで

WebClassから氏名・学科・学年を記載して申込をしてください。



医学科の学生・研修医の方も訪問看護師さんの話を聴いて、これからの役立ててみませんか？

共催

滋賀県医師キャリアサポートセンター 医学・看護学教育センター
NPO法人 滋賀医療人育成協力機構 里親学生支援室

お菓子🍪を食べながら一緒にお話しませんか？

お問い合わせ

滋賀医科大学

医学・看護学教育センター

URL: <http://shiga-meduc.com>

☎: 077-548-2754

✉: hqrinkyo@belle.shiga-med.ac.jp

高島市・湖西地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

2025年4月1日

3月18日(火)～19日(水)に、高島市・湖西地域方面を訪問させていただいた春の宿泊研修には、学生22名(滋賀医科大学医学科第1～6学年16名、看護学科第1～2学年4名、滋賀県立大学2年生2名)が参加しました。

【1日目】

・地域散策

1日目の地域散策は安曇川町にある中江藤樹の住居跡・講堂跡である藤樹書院跡を訪問し、江戸の儒学者 中江藤樹の生涯や教えについてお話しいただきました。現在も地域の小学生達に中江藤樹の教えが引き継がれています。



・まつもと整形外科にて研修

午後からは2班に分かれて、新旭町で開業されているまつもと整形外科に訪問させていただきました。松本先生からは、主に勤務医と開業医の違いについてご説明いただきました。松本先生ご自身が開業を決意されたきっかけや開業医としてのやりがい、勤務医時代のご経験や苦労された思い出等、それぞれにメリットとデメリットがあることを教えていただきました。

地域ならではの診察内容等、具体的な医療についてのお話もしていただき、学生にとってとても興味深い内容でした。また、ご自身の自己紹介の中ではご趣味のワインやスポーツ観戦について笑いを交えてお話いただき、なごやかな雰囲気での研修となりました。



・高島市訪問看護ステーションにて研修

もう一つの班は、今年度から高島市民病院と事業統合し、また、訪問看護ステーションの訪問リハビリテーションを開始された高島市訪問看護ステーションを訪問させていただきました。

訪問看護認定看護師の武内在宅療養支援部長に施設の説明を行っていただき、利用者の方のケアだけではなく、生活の中で医療・介護をどのようにプラン立てし観察していくことが大事であることや、顔色や声などから、利用者の方がどのように感じたかを考えるなど、五感を大事にしてもらいたいと学生たちにお話しいただきました。



・朽木診療所にて研修

一日目の最後は、永らく滋賀県で唯一「村」であった朽木地区にある朽木診療所を訪問させていただきました。

始めに朽木地区の特徴についてお話しいただき、この地域が抱えている超高齢化問題、移動手段の確保や医師不足など様々な課題点についてもお説明いただきました。また、朽木診療所の特徴として、医師の勤務年数が短く、その度に医師が変更することについても、日頃の交流を交え、地域の方の理解を得ている旨、お話しいただきました。

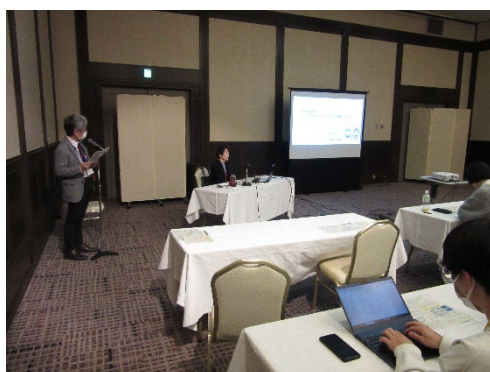


・交流会

夕方は、宿泊先の今津サンブリッジホテルにおいて交流会を開催しました。

交流会第1部では、高島市民病院 病院事業 在宅療養支援部長 武内美英子訪問看護認定看護師に「高島地域を知り地域に求められる医療職になろう～医療職・行政職の立場から～」と題し、ご講演いただきました。

みんなで診て、共有し、早期発見につなげることの大切さや、コミュニティの盛んな地区と希薄な地区との差の問題点についてもお話いただきました。



【2日目】

・地域散策

2日目の午前中は竹生島に行く予定をしていましたが、天候が悪く、船が欠航になったため、急遽予定を変更し、まず、マキノ町にあるメタセコイア並木を見学しました。まっすぐ伸びた県道小荒路牧野沢線の両側には、延長約 2.4km にわたりメタセコイアが約 500 本植えられ、その景観はとても雄大なものでした。季節的にはあいにくの時期でしたが、初めて訪れた学生もあり、その並木の長さ感激していました。



続いて、「われ～は湖の～子～♪」で知られる「琵琶湖周航の歌」の発祥の地である今津町の「琵琶湖周航の歌資料館」を見学しました。

琵琶湖周航の歌は、加藤登紀子さんが歌われて国民的に親しまれていますが、資料館の方の説明を受けて歌の由来や、たくさんの著名人が歌われていることについて知ることができました。



散策の最後は、今津ヴォーリズ資料館を見学しました。

現在はカフェとして利用されていますが、資料館の方の説明を受け、W. M. ヴォーリズの教えについても学ぶことができました。



・今津病院にて研修

サンブリッジホテルで昼食をいただいた後、午後からの最初の研修先として、今津病院を訪問しました。今津病院は、湖西地域では唯一の回復期リハビリテーション病棟を開設するなど、高島市、大津市、長浜市から各疾患の手術後・発症後の患者さんに早期にリハビリテーションを実施し、住み慣れた自宅での療養に繋げることを目標とされています。

仁賀事務長、佐々木循環器内科部長から今津病院の概要、前川リハビリテーション室長から回復期リハビリテーション病棟の特徴、竹本課長からは地域包括ケアシステムの必要性についてお話いただきました。

佐々木循環器内科部長からは、高齢化社会の中で多職種連携の必要性や、患者さんの希望を叶えるためには、関わるスタッフの各領域のプロフェッショナルとコミュニケーションの重要性や、患者さんに伝える時は、医学用語ではなく、かみ砕いた言葉で説明できるよう、日頃からの訓練が必要であるとお話いただきました。最後に、透析センターなどの施設見学をさせていただきました。



・マキノ病院にて研修

国道161号線を北上し、最後の研修先であるマキノ病院を訪問しました。

高島市の最北部に位置するマキノ町は、町名がカタカナで表記されることから、北海道のニセコ町と姉妹都市協定を結んで盛んに交流が行われています。

マキノ病院は、湖西における最北の病院として、高島市北部の急性期救急医療を守るとともに、高島市民病院や今津病院との連携により、高島市の医療と地域包括ケアシステムに貢献されています。

研修に際し、西村病院長から病院の概要や特色についてお話をいただいたき、学生からの質問に対して、総合診療医は幅広く様々な疾患に対応する必要がある、本院ではマンパワーが不足している診療のサポート対応、回復期・慢性期の様々な疾患への対応が必要であるので、色々な経験をしてくださいとお話いただきました。また、院内を詳しく見学させていただきました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、地元の方々の暖かな人柄に触れながら、この素晴らしい高島市・湖西地域で地域医療に従事する学生が一人でも多く活躍してくれることを切に期待しています。

(この研修は、NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターとの協同で実施しました。)